

イルベタン錠 50mg
 イルベタン錠 100mg
 イルベタン錠 200mg

【この薬は？】

販売名	イルベタン錠 50mg Irbetan Tablets 50mg	イルベタン錠 100mg Irbetan Tablets 100mg	イルベタン錠 200mg Irbetan Tablets 200mg
一般名	イルベサルタン Irbesartan		
含有量 (1錠中)	50mg	100mg	200mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」
<http://www.info.pmda.go.jp/> に添付文書情報が掲載されています。

▼
 【この薬の効果は？】

- ・この薬は、アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、血管を収縮させる作用のあるアンジオテンシンⅡと呼ばれる物質の働きを抑えることで血圧を下げます。
- ・次の病気の人に処方されます。

高血圧症

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にイルベタン錠に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人
- ・アリスキレンを使用している糖尿病の人（ただし、他の血圧を下げる治療を並行して行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の人を除く）

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・腎動脈狭窄のある人
- ・高カリウム血症の人
- ・腎臓に重篤な障害のある人
- ・肝臓に障害のある人、特に胆汁性肝硬変および胆汁うっ滞のある人
- ・脳血管に障害のある人
- ・高齢の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	イルベタン錠 50mg	イルベタン錠 100mg	イルベタン錠 200mg
一回量	50～100mg ただし、1日 200mg まで増量されることがあります。		
飲む回数	1日1回		

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次に飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

著しい血圧低下（脱力感、立ちくらみ、めまい）、頻脈（めまい、胸がドキドキする、胸の痛み、動悸（どうき））があらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合は、使用を中止し、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・腎臓に障害がある人やコントロール不良の糖尿病の人では高カリウム血症をおこすおそれがあるので、これらの人には定期的に血液検査がおこなわれます。
- ・一時的に急激な血圧の低下（失神、意識消失など）をおこすおそれがあるので、

そのような場合には、使用を中止し、ただちに医師に連絡してください。特に、透析中の人、利尿降圧剤を使用している人や嚴重な減塩療法中の人には十分注意してください。

- ・重篤な肝機能障害があらわれたとの報告があるので、体がだるい、白目が黄色くなる、吐き気などの症状があらわれた場合には、ただちに医師に連絡してください。
- ・血圧が下がることにより、めまいやふらつきがあらわれることがあるので、高所での作業、自動車の運転など危険を伴う機械の操作には注意してください。
- ・手術前 24 時間はこの薬を使用しないことが望ましいので、手術を受ける場合、必ずこの薬を飲んでおくことを医師に伝え、医師の指示に従ってください。

- ・妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使うことができません。
 - ・この薬を使用中に妊娠が判明した場合は、ただちに医師に相談してください。
 - ・妊娠する可能性がある人は、医師や薬剤師に、この薬が妊婦や胎児に影響を及ぼす可能性があることについて説明を受け、十分に理解してください。
- 特に、妊娠の希望や予定のある人は、医師に相談してください。

- ・授乳中の方は、授乳を中止してください。

薬の影響を心配する女性に対し、妊娠と薬情報センターで相談に応じています。さらに詳しい説明を希望される場合には妊娠と薬情報センターにご相談ください。

《妊娠と薬情報センター》

(国立成育医療研究センター) 電話：03-5494-7845

- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。


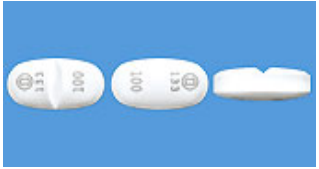




重大な副作用	主な自覚症状
血管浮腫 けっかんふしゅ	まぶたのはれ、唇のはれ、舌のはれ、息苦しい、じんましん
高カリウム血症 こうカリウムけっしょう	唇がしびれる、手足が動きづらい、手足に力が入らない、手足のしびれ、手足のまひ、筋肉が衰える、筋力の減退
ショック	冷や汗、めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、血の気が引く、息切れ、判断力の低下
失神 しっしん	気を失う
意識消失 いしきしょうしつ	意識がなくなる、考えがまとまらない、気を失う
腎不全 じんふぜん	むくみ、全身のけいれん、貧血、頭痛、のどが渇く、吐き気、食欲不振、尿量が減る、無尿、血圧上昇

重大な副作用	主な自覚症状
肝機能障害 かんきのうしょうがい	からだのだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振、かゆみ、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿が褐色になる
低血糖 ていけつとう	ふらつき、脱力感、冷や汗、めまい、頭痛、動悸、空腹感、手足のふるえ
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	脱力感、手のしびれ、手足のこわばり、足のしびれ、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷や汗、むくみ、全身のけいれん、貧血、からだのだるい、ふらつき、脱力感
頭部	めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、意識がなくなる、頭痛
顔面	血の気が引く
眼	まぶたのはれ、白目が黄色くなる
口や喉	唇のはれ、舌のはれ、唇がしびれる、のどが渇く、吐き気、嘔吐
胸部	息苦しい、息切れ、吐き気、動悸
腹部	食欲不振、吐き気、空腹感
手・足	手足が動きづらい、手足に力が入らない、手足のしびれ、手足のまひ、手足のふるえ、手のしびれ、手足のこわばり、足のしびれ
皮膚	じんましん、むくみ、かゆみ、皮膚が黄色くなる
筋肉	筋肉が衰える、筋力の減退、筋肉の痛み
尿	尿量が減る、無尿、尿の色が濃くなる、尿が赤褐色～褐色になる
その他	判断力の低下、気を失う、血圧上昇

【この薬の形は？】

販売名	イルベタン錠 50mg	イルベタン錠 100mg	イルベタン錠 200mg
形状	だ円形の錠剤 	だ円形の錠剤 	だ円形の錠剤 
PTPシート	 表面 裏面	 表面 裏面	 表面 裏面
直径	8.5mm	11.0mm	14.0mm
短径	4.4mm	5.7mm	7.3mm
厚さ	3.1mm	3.8mm	4.8mm
重さ	100mg	200mg	410mg
色	白色～帯黄白色		
識別コード	Ⓢ 132 50	Ⓢ 133 100	Ⓢ 134 200

【この薬に含まれているのは？】

販売名	イルベタン錠 50mg	イルベタン錠 100mg	イルベタン錠 200mg
有効成分	イルベサルタン		
添加物	乳糖水和物、結晶セルロース、クロスカルメローソナトリウム、ヒプロメロース、軽質無水ケイ酸、ステアリン酸マグネシウム、クエン酸トリエチル、酸化チタン、タルク		

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。
製造販売会社：シオノギファーマ株式会社

販売会社：塩野義製薬株式会社(<http://www.shionogi.co.jp/>)

医薬情報センター

電話：0120-501-074

受付時間：9時～17時（土、日、祝日を除く）